SOTEC

TideoDV ユーザーズガイド

重要なお知らせ

・本書の仕様、情報（本製品、ソフトウェアを含む）は予告なしに変更される場合があります。本製品ならび、ソフトウェア、マニュアルを運用した結果については、いっさいの責任を負いかねます。
・本製品にあらかじめインストールされているWindows Me以外のOSについては、サポートの範囲外とさせて頂きますので、ご了承ください。
・本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
・本製品を使用中、万一これらの不具合により、録画・録音されなかった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

本書の全ての内容は著作権法によって保護されています。株式会社ソーテックの許可なしに、本書の内容の一部、または全部を無断で複写、転載することを禁じます。

©2000 株式会社ソーテック

本書で紹介されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびそのマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約にもとづき、同意書記載の管理責任者のもとでのみ使用することができます。よって、それ以外の目的で当該ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。

Microsoft、Windows、DirectX、Media Playerは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Intel、PentiumおよびCeleronはIntel Corporationの商標または登録商標です。

その他記載されている会社名、製品名は各社の商標または、登録商標です。

はじめに

TideoDV の世界へようこそ！ TideoDV は、初めての方にも簡単にご使用いただける DV 編集ソフトです。TideoDV をご使用いただければ、デジタルビデオで撮影した大切な思い出を、一編の映画のように編集することも可能です。

目次

1 TideoDV を始める前に

TideoDV を始める前に、パソコンにデジタルビデオ機器を接続します。

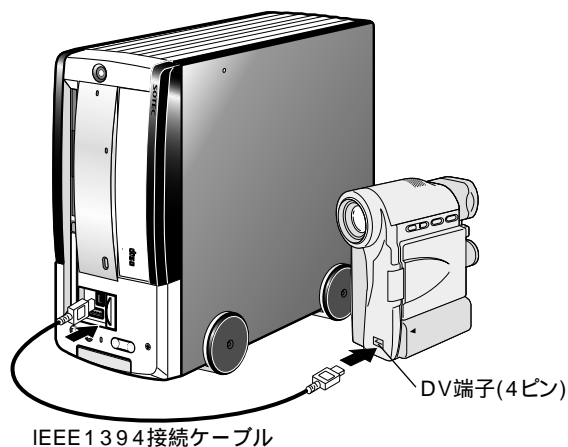
デジタルビデオ機器について

TideoDV は映像の圧縮に、デジタルビデオ機器の標準フォーマットである DV フォーマットを使用しています。また、デジタルビデオ機器と接続するために IEEE1394 インターフェースを使用します。ソニー、 松下、 シャープ社などのデジタルビデオ機器製品は勿論、IEEE1394 端子を持っているほとんどのデジタルビデオ機器をサポートしています。

注意

一部のデジタルビデオ機器（たとえばビクター社の GR-DVX7, ソニー社の WV-D9000 など）の場合は TideoDV が正常的に動作しない可能性があります。詳しくは TideoDV のホームページを参照してください。

デジタルビデオ機器の接続のしかた

IEEE1394 端子を持っているデジタルビデオ機器は次のように接続します。

パソコンとデジタルビデオ機器を接続するためにはIEEE1394 ケーブルが必要です。このケーブルは通常パソコン側は 6 ピン、デジタルビデオ機器側は 4 ピンのコネクタで構成されています。

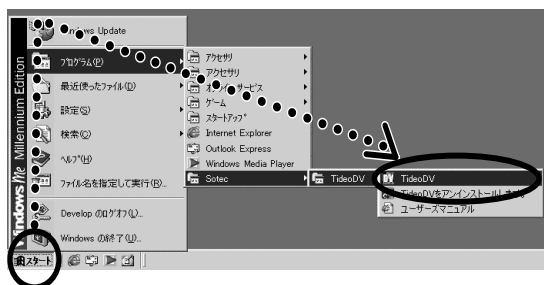
2 TideoDVの始めかたと終わりかた

TideoDVの始めかたと、終わりかた、メイン画面の各部の名称、新規プロジェクトの作成について説明します。

TideoDVを起動する

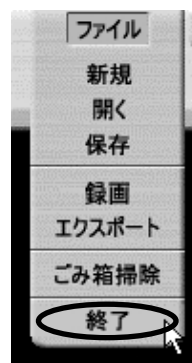
1 **デジタルビデオ機器をパソコンに接続します。**
Ttep1の「デジタルビデオ機器の接続のしかた」をご参照ください。

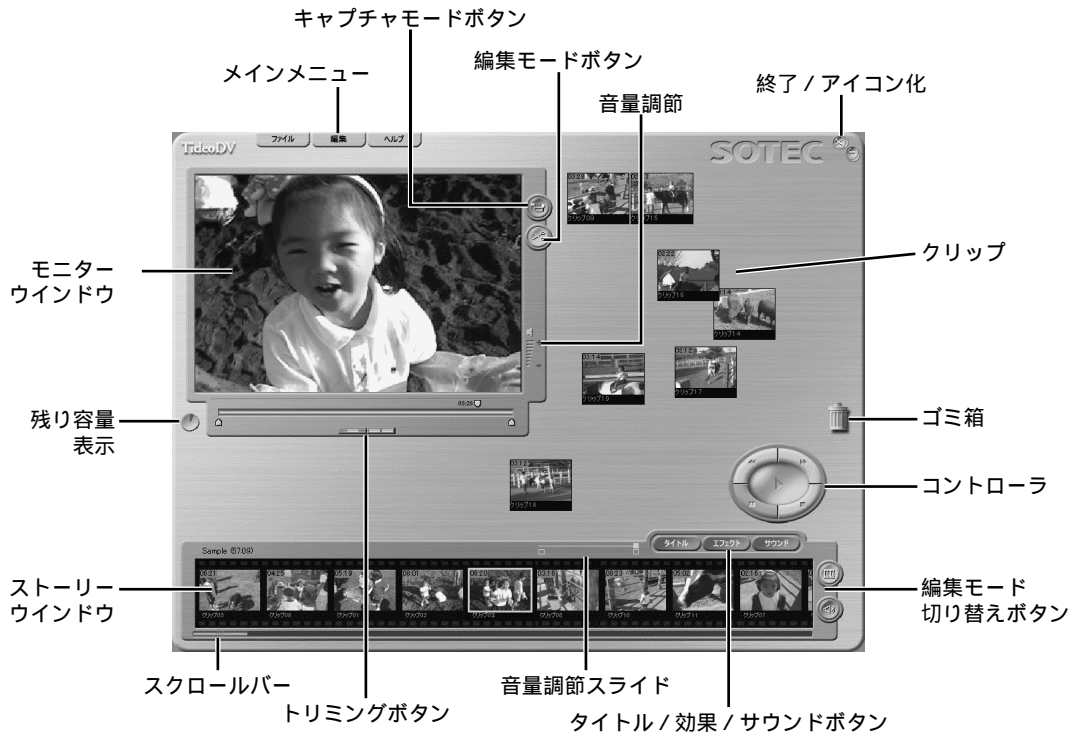
映像のキャプチャや録画の作業を行わない編集だけの場合はデジタルビデオ機器を接続する必要はありません。

2 **［スタート］→［プログラム］→［Sotec］→［TideoDV］の順に選択します。**

または、デスクトップにあるTideoDVのアイコンをダブルクリックします。

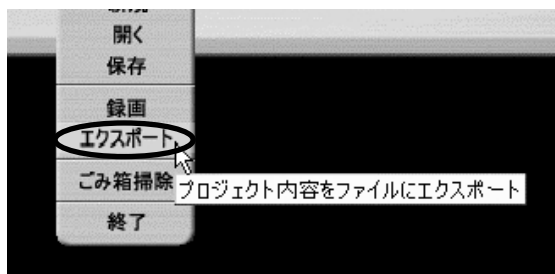
3 **しばらくするとTideoDVのメイン画面が表示されます。**

TideoDVを終了する

1 **TideoDVを終了するには、画面の右側上段の⊗をクリックします。**
または、［ファイル］メニューの［終了］を選択するか、キーボードから［ALT］+［F4］キーを押すとTideoDVは終了します。

メイン画面の各部の名称

TideoDV のメイン画面には様々な機能のアイコンとボタンがあります。
各々の詳細機能はこの後の説明をご参照ください。

モニターウィンドウ、ストーリーウィンドウ、コントローラ、残り容量表示機はどこでも移動が可能です。モニターウィンドウとストーリーウィンドウは、ウィンドウの上部分をドラッグして移動します。コントローラーは、ボタン以外の部分をドラッグして移動します。

ヘルプの表示のしかた（F1）

［ヘルプ］メニューの［ヘルプ］を選択､または［F1］キーを押すと、Web ブラウザが実行され、HTML 形式の TideoDV ヘルプ が表示されます。実行途中メニュー項目や、ボタンにマウスカーソルを合わせると簡単なヘルプが表示されます。

［ヘルプ］メニューの［バージョン情報］を選択すると、TideoDV のバージョンをしめすダイアログボックスが表示されます。

ホームページへのアクセス

画面上段左側の TideoDV アイコンをクリックすると、Web ブラウザが実行され、TideoDV ホームページが表示されます。本説明書のほか TideoDV についての追加情報や、最新アップグレード、サポートに関する情報を得ることができます。
画面上段の SOTEC アイコンをクリックすると、Web ブラウザが実行され SOTEC 社のホームページ (http://www.sotec.co.jp) が表示されます。

インターネット接続環境が設定されていない場合はインターネット接続環境をまず設定してください。

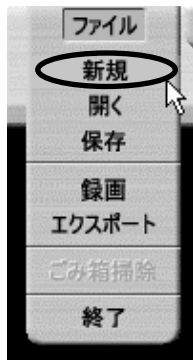
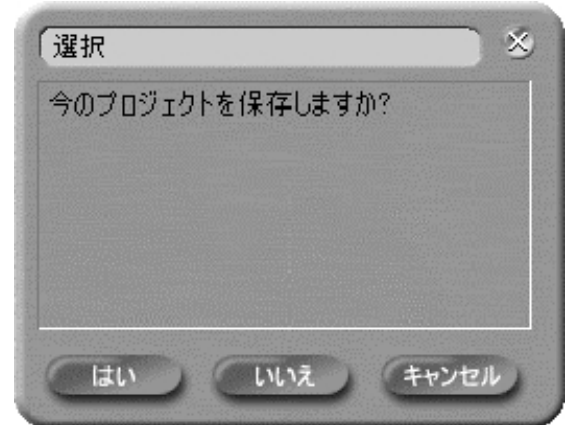
新しいプロジェクトの作成（Ctrl+N）

1 **TideoDV を初めて起動すると、次のようなダイアログボックスが表示されます。**

新しいプロジェクトを作成するには、［新規］ボタンをクリックします。

アドバイス

サンプルプロジェクトをインストールした場合は、サンプルプロジェクトが開いた状態で起動します。

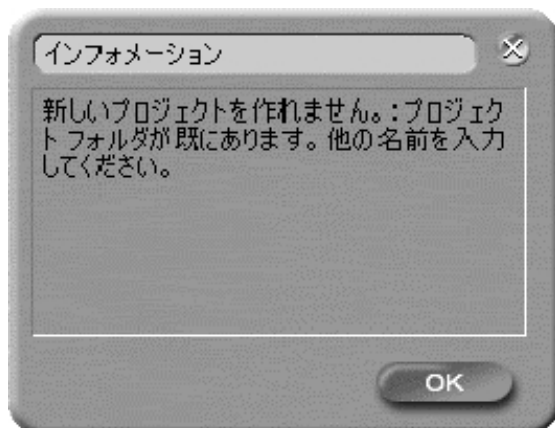
2 **［ファイル］メニューから［新規］を選択します。**
または、キーボードから［Ctrl］＋［N］キーを押します。

3 **以前のプロジェクトを保存していない場合は、保存を確認するダイアログボックスが表示されます。**

保存する場合は［はい］を、しない場合は［いいえ］をクリックします。［キャンセル］をクリックすると元に戻ります。

4 **新しいプロジェクト名を入力するダイアログボックスが表示されます。**

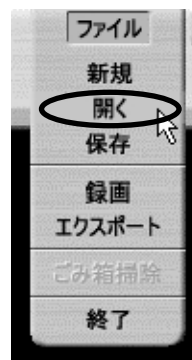
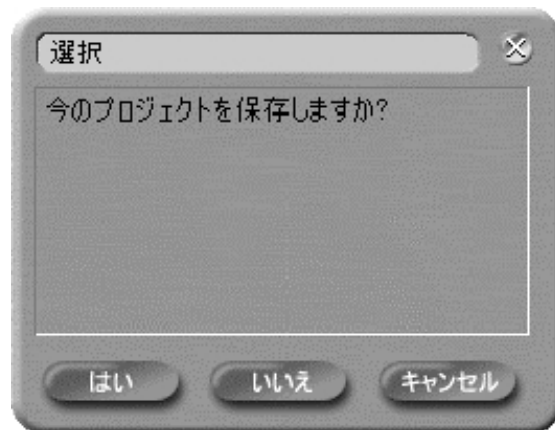
新しいプロジェクト名を入力して［OK］をクリックします。

アドバイス

新しいプロジェクトは基本的に C:\My documents\TideoDV に保存されます。別のフォルダに保存したい場合は、[参照] ボタンをクリックしてフォルダを選択します。

5 同名のプロジェクトが既に存在する場合は、プロジェクトを作成することができませんので、もう一度別の名前を入力します。

プロジェクトの呼び出し（Ctrl+O）

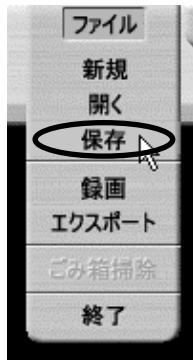
TideoDV を実行すると常、に最後に作業していたプロジェクトが表示されます。他のプロジェクトを呼び出す場合は次の手順で行います。

1 ［ファイル］メニューの［開く］を選択します。または、キーボードから［Ctrl］+［O］キーを押します。

2 以前のプロジェクトを保存していない場合は、保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

保存する場合は［はい］ボタンを、しない場合は［いいえ］ボタンをクリックします。

3 プロジェクトファイルを選択するダイアログボックスが表示されます。（プロジェクトファイルを初めて作成する際に付けた名前に「.DVP」という拡張子が付いて表示されます。）希望するプロジェクトファイルを選択した後、［開く］ボタンをクリックします。

プロジェクトの保存（Ctrl+S）

編集したプロジェクトを保存するには、次の手順で行います。

1 **［ファイル］メニューの［保存］を選択します。**

作業中は、プロジェクトを時々保存するようにしてください。DV データは容量が大きいため、これを処理するためには多量のシステムリソースが必要となります。従って、映像作業の途中でシステムが不安定になることがあります。特に複雑な編集を行う前後には、プロジェクトを保存することをお勧めします。

3 映像をキャプチャする

デジタルビデオ機器の映像を TideoDV を使って、キャプチャしましょう。

キャプチャモードの切り替えかた

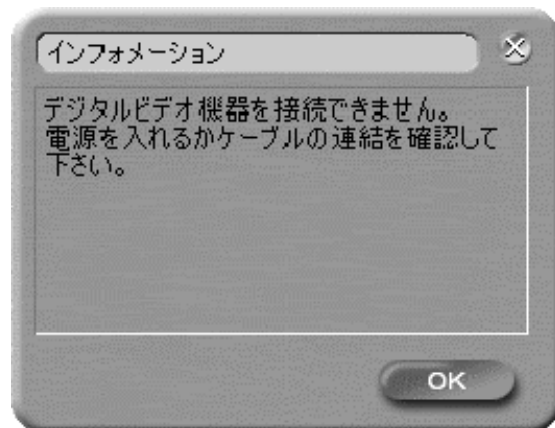
映像を編集するためには、ハードディスクに映像をキャプチャすることから始めます。

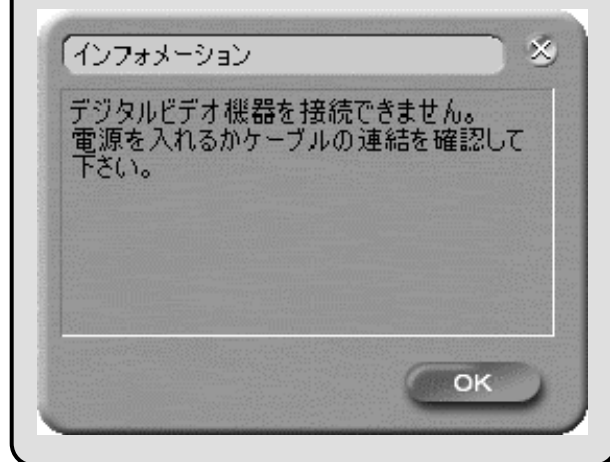
1 **まず、「Step2」の説明に従ってデジタルビデオ機器を PC に接続します。**
この時、デジタルビデオ機器をビデオモードに設定します。

2 **モニターウィンドウ右側上段の をクリックします。**
約 4 ～ 5 秒後､キャプチャモードに切り替わります。

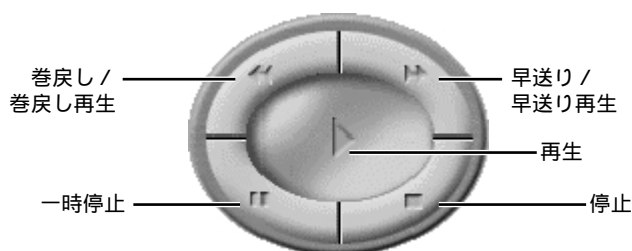
3 **キャプチャモードに切り替わるとモニターウィンドウの下段に［キャプチャ］ボタンが表示されます。**

注意

デジタルビデオ機器が未接続（もしくは接続不良）であったり、デジタルビデオ機器の電源が OFF になっていたりすると､キャプチャモードに切り替えられません。

注意

映像をキャプチャするには､デジタルビデオ機器がビデオモードに設定されていなければなりません。もしカメラモードに設定されている場合は、キャプチャモードに切り替えられません。

4 **キャプチャモードから元の映像編集モードに戻るためにはモニターウィンドウ右側上段の をクリックします。**
もしくは作業領域内の映像クリップをダブルクリックして再生するか､クリップをストーリーウィンドウに移して編集作業をしても、自動的に映像編集モードに戻ります。

デジタルビデオ機器の操作

キャプチャモードでは、コントローラのボタンを使用してデジタルビデオ機器の再生や巻戻しをします。

アドバイス

はデジタルビデオ機器が停止状態の時は、早送り機能を、デジタルビデオ機器が再生中の時には早送り再生をします。
も同様に、デジタルビデオ機器が停止状態の時は、巻戻し機能を、デジタルビデオ機器が再生中の時には、巻戻し再生機能をします。

注意

操作中デジタルビデオ機器の電源が切れたり、接続ケーブルが抜けたりすると、一時的にプログラムの反応が遅くなります。この場合は をクリックした後、編集モードに戻るまでしばらく（約5秒）待ちます。

映像をキャプチャする

映像をキャプチャするには、次の手順で行います。

1 **キャプチャモードに切り替えた後、デジタルビデオ機器を再生します。**

2 **モニターウィンドウのプレビュー画面に表示される映像を見ながら、キャプチャをスタートしたい時点で［キャプチャ］ボタンをクリックします。**

注意

キャプチャモードでデジタルビデオ機器を再生すると、モニターウィンドウのプレビュー画面に映像が表示され、パソコンのスピーカから音が再生されます。しかし、キャプチャをしている間は映像だけが表示されて音は再生されません。キャプチャボタンをクリックした時、パソコンから音が流れてこなくても音は正常に録音されます。

3 **キャプチャ中のモニターウィンドウには、キャプチャした映像の時間が表示されます。**

4 **キャプチャを終了する場合は、［キャプチャ］ボタンをもう一度クリックしてください。**
キャプチャが成功すると、作業領域に新しくキャプチャした映像が追加されます。

アドバイス

映像の長さはmm:ss:ff形式で表示されます。mmは分、ssは秒、ffはフレームを表わします。フレームは映像の最小単位で、1フレームは1/30秒です（NTSCビデオ基準）。映像は長さが1分より短いときはss:ff形式で表示されます。例えば、00:15は15フレーム（0.5秒）、33:02は33秒2フレーム、04:34:12は4分34秒12フレームを意味します。

キャプチャした映像名の変更

キャプチャした映像の名前は、キャプチャした順番によって、「クリップ 01」、「クリップ 02」のように自動的に付けられます。映像の名前を変更したい時には、作業領域から映像を選択して、映像の名前の部分をクリックします。

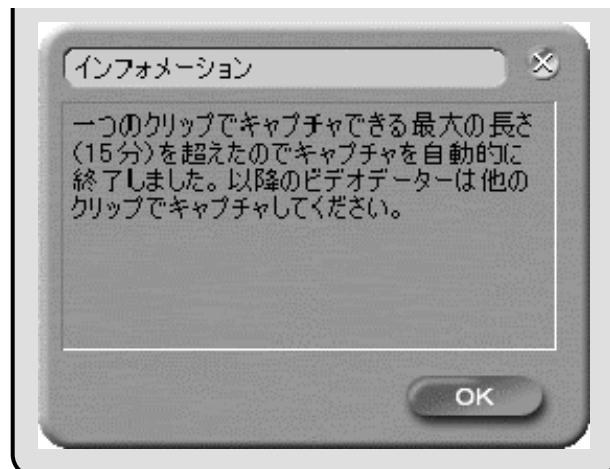
映像キャプチャ時の注意点

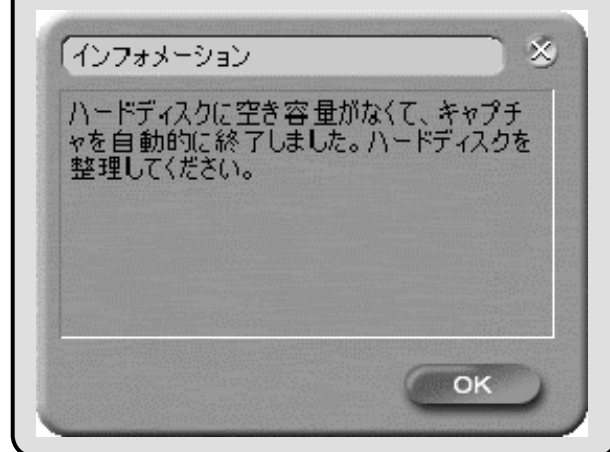
注意

DV 映像と音データは、1 分当り、約 210MB のディスク容量を必要とします。ハードディスクの空き容量が十分でなければ、キャプチャの途中で、エラーが発生することがあります。キャプチャをする前に、空き容量を確かめてください。空き容量は画面左側の空き容量表示アイコンの上にマウスカーソルを移動すると確認することができます。

注意

TideoDV で一度にキャプチャできる映像の長さは、15 分を超えることができません。万一キャプチャをはじめた後、15 分を超えるとキャプチャが自動的に終了して次のダイアログボックスが表示されます。

注意

キャプチャの途中でハードディスクの空き容量がなくなってしまった場合、自動的にキャプチャが終了し、次のようなダイアログボックスが表示されます。

アドバイス

それぞれの映像は最大 15 分に制限されていますが、編集プロジェクトはいろいろな映像を集めて作るので製作可能な長さには制限がなく、ハードディスク容量が充分であれば 15 分以上の長いプロジェクトも編集が可能です。ただし編集が終わったプロジェクトをデジタルビデオ機器に録画する場合、直接録画する方法には問題はありませんが、それ以外の方法では 15 分を超えるプロジェクトは録画することができません。Step8（P.35）を参照してください。

- DV データは容量が大きいので、これをキャプチャするためには多量のシステムリソースを必要とします。キャプチャ時には、TideoDV 以外のプログラムを終了してください。
- 映像キャプチャのためには、高速のハードディスクが必要です。SCSI 方式あるいは DMA/33 以上の IDE 方式のハードディスクを推薦します。速度が遅いハードディスクを使うとキャプチャした映像や音響が途切れる場合があります。

IDE 方式のハードディスクを使用する場合、システムの DMA オプションを有効にしてください。SOTEC 社のパソコンは出荷時にこのオプションが有効になっています。システムの再設定やディスクの交換を行なった場合には、このオプションが有効にしてあるかをお確かめください。確認は次の手順で行います。

① [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] の順に選択します。
② [システム] をダブルクリックします。
③ [デバイスマネージャ] タブを選択して、[ディスクドライブ] 項目を開きます。
④ [GENERIC IDE DISK TYPExx] を選択して、[プロパティ] ボタンをクリックします。
⑤ [設定] タブを選択して、[DMA] オプションがチェックされているのかを確認します。
⑥ チェックされていない場合は、チェックしてからウィンドウを閉じます。
この時システムを再起動する必要があります。

ハードディスクを定期的に最適化すると、キャプチャ時に問題が起りにくくなります。次の手順でハードディスクの最適化を行います。

① [スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [システム ツール] → [デフラグ] の順に選択します。
② 最適化したいドライブを選択して、[OK] ボタンをクリックします。

4 映像編集

TideoDV でキャプチャした映像を、トリミング機能を使って編集しましょう。

作業領域での映像選択/再生

映像をキャプチャすると、作業領域に小さな画面が表示されます。キャプチャした映像を再生するには、次の手順で行います。

1 作業領域の映像を再生する方法は次の４つがあります。

①映像をマウスで選択した後、コントローラーの［再生］ボタンをクリックします。
②映像をマウスで選択した後、スペースキーを押します。
③映像をマウスで選択した後、モニターウィンドウにドラッグアンドドロップします。
④映像をダブルクリックします。

2 映像が再生されている途中、コントローラーの［一時停止］ボタンをクリックして、映像を一時停止すると、フレーム移動が可能です。

- をクリックすると、映像が一時停止します。
- をクリックすると、再生を再開します。
- をクリックすると、映像が 10 フレーム前に移動します。
- をクリックすると、映像が 10 フレーム後ろに移動します。
- をクリックすると、再生が中断されて一番最初のフレームに移動します。

アドバイス

スペースキーでも映像再生と一時停止が可能です。スペースキーを押すごとに、一時停止と再生が繰り返されます。

3 モニターウィンドウの下段にある再生バーの上に現在の位置をしめすポインタが表示されます。このポインタをドラッグすると希望する位置に移動できます。

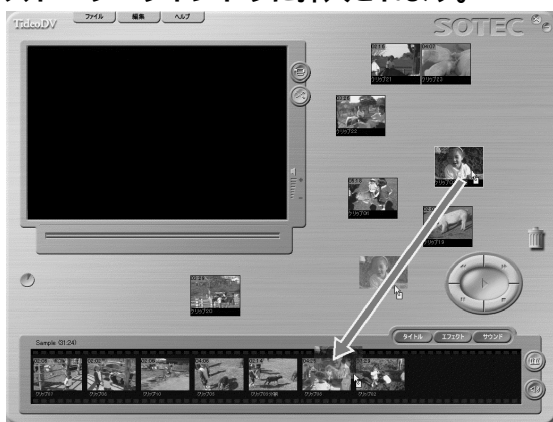
アドバイス

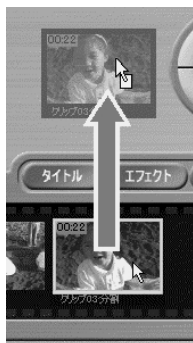
映像を再生させたり一時停止したりする状態で、現在位置表示ポインタ左側、または右側にマウスカーソルを移動してクリックすると、映像を１フレームごとに前進あるいは後進しながら見ることができます。この機能は、特に映像トリミング時に正確な位置を探す際に大変役に立ちます。

4 モニターウィンドウの右側中央の＋／－音量調節ボタンをクリックして再生音量を調節します。音量表示部分をクリックすると、一時的にサウンドがミュートになります。サウンドを聞く場合は、もう一度クリックします。

カット編集

映像編集の基本は、キャプチャした映像を好みの順に配置することです。これをカット編集といいます。カット編集は、作業領域にある映像を選択して、画面の下段のストーリーウィンドウに挿入します。

1 **作業領域から任意の映像の画面を選択した後、ストーリーウィンドウにドラッグします。ご希望の位置にドロップすると、該当の映像がストーリーウィンドウに挿入されます。**

2 **ストーリーウィンドウ内で映像の順番を変えるには、映像を選択した後、ドラッグしてご希望の位置にドロップします。**

3 **ストーリーウィンドウでの映像の削除は、映像をドラッグして作業領域にもう一度移しておきます。**

ストーリーウィンドウでの映像選択/再生

1 **編集したストーリー全体を再生するには、作業領域の空いている空間をクリックした後、コントローラの再生ボタンをクリックします。**
またはキーボードのスペースキーを押します。

2 **編集したストーリーウィンドウ内の特定な位置の映像から再生するには、該当する映像をマウスで選択した後、コントローラの再生ボタンをクリックします。**
またはキーボードのスペースキーを押します。

3 **編集したストーリーウィンドウ内の特定な映像だけを再生するには、その映像をダブルクリックします。**
または、この映像を選択した後、モニターウィンドウにドラッグアンドドロップします。

アドバイス

1、2 のように、いくつかの映像が再生されている場合は、モニターウィンドウ下段の再生バーに各映像の相対的な長さが表示されます。また、再生されている間、現在位置を表すポインタがストーリーウィンドウに表示されます。

4 **映像が再生されている途中はコントローラのボタンで一時停止やフレーム移動等が可能です。**

- をクリックすると、映像が一時停止します。
- をクリックすると、再生を再開します。
- をクリックすると、映像が 10 フレーム前に移動します。
- をクリックすると、映像が 10 フレーム後ろに移動します。
- をクリックすると、再生が中断されて一番最初のフレームに移動します。

アドバイス

スペースキーでも映像再生と一時停止が可能です。スペースキーを押すたびに一時停止と再生が繰り返されます。

step 4 映像編集

映像トリミング（Ctrl+E）

映像をキャプチャすると、撮り間違った部分や不必要な部分までキャプチャされる場合があります。ストーリーウィンドウに映像を挿入する前に必要のない部分を切り捨てる作業をトリミングといいます。

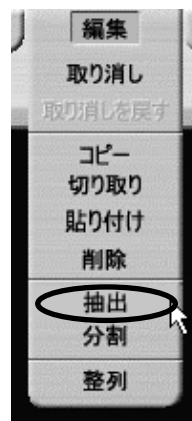
1 **作業領域から映像をダブルクリックするか、またはモニターウィンドウにドラッグアンドドロップして再生します。**

2 **映像が再生されている間、コントローラーボタンやスペースキーで､ご希望の位置で映像を一時停止します。一時停止している状態で、現在位置ポインタの左右をクリックして、映像を 1 フレームごとに前進あるいは後進させ､正確な位置を簡単に探す事ができます。**

3 **モニターウィンドウの再生バー下側で、現在位置表示ポインタのすぐ下の位置にマウスカーソルを移動すると､カーソルが手の形に変わります。この時クリックすると、現在位置がスタート位置に設定されます。**
または、シフトキーを押した状態でクリックすると、現在位置がエンド位置に設定されます。

アドバイス

モニターウィンドウの再生バー下段の、両側にあるポインタをドラッグして、スタート位置とエンド位置を直接設定することができます。スタートとエンド位置をドラッグする場合は、再生バー上段の現在位置表示ポインタが一緒に動きます。

4 **再生バー下側の クリックします。または［Ctrl］+［E］キーを押すか、［編集］メニューから［抽出］を選択します。**
スタートとエンドのポインタで選択した部分を除いて、両端の部分が映像から削除されます。

アドバイス

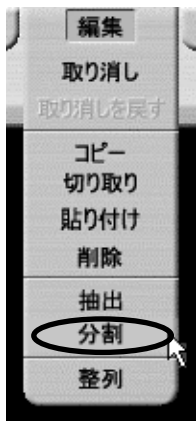
［抽出］で削除した両端の部分は、実際にはハードディスクから削除されないので、必要な場合は、映像を後で復元することができます。

映像分割（Ctrl+T）

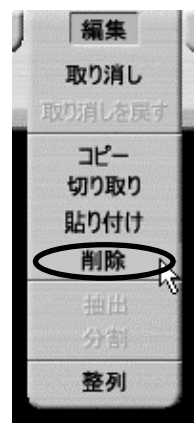
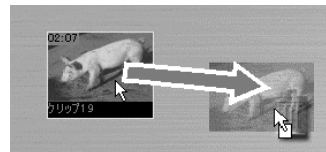
キャプチャした映像から使用する部分が 2 つ以上ある場合、抽出機能だけでは欲しい映像を得ることができません。この場合オリジナル映像を 2 つに分割した後、それぞれに抽出機能を使用します。分割機能を応用すると、撮影した映像の中から使用する場面をひとつひとつキャプチャする必要がなく、映像全体を一度にキャプチャした後、必要な部分を取り出して編集することもできます。

1 **作業領域やストーリーウィンドウから、映像をダブルクリックして再生します。**

2 **再生バーの上段のポインタをドラッグして分割する位置に移しておきます。**

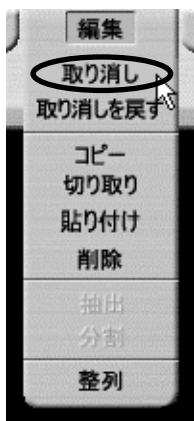
3 **再生バー下側の ▭ をクリックします。**
または［Ctrl］+［T］キーを押すか、［編集］メニューの［分割］を選択します。
映像が分割されて新しい映像が作業領域に表示されます。
不要な映像は削除することができます。

映像削除（Delete）

1 **作業領域やストーリーウィンドウから映像を選択します。**

2 **［Delete］キーを押すか、または、［編集］メニューの［削除］を選択します。**
映像が削除されます。

映像をドラッグして［ごみ箱］にドロップしても、映像を削除することができます。

step 4 映像編集

作業取り消し（Ctrl+Z）

作業取り消し機能は、削除した映像の復元等に便利な機能です。取り消し機能は、全ての編集過程で作業した事を取り消すことができます。作業取り消し機能を使うには、［編集］メニューの［取り消し］を選択します。または、キーボードから［Ctrl］+［Z］キーを押します。Undo機能ともいいます。

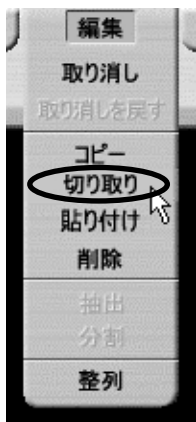
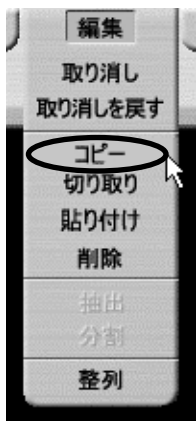
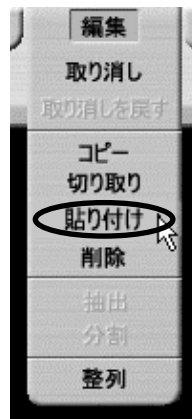
- **プロジェクトを保存すると、保存以前の作業については取り消し機能を使えなくなります。**
- **TideoDVは映像を作業領域から削除しても、取り消し機能のためごみ箱に映像を保管しています。映像をハードディスクから完全に削除するには、後で説明するごみ箱を空にする機能を使ってください。プロジェクトを保存した場合は、ごみ箱は空になります。**

作業取り消しを戻す（Ctrl+R）

取り消した作業を再び元に戻すときに使う機能です。例えば削除した映像を「取り消し」機能によって復元しても、「取り消しを戻す」機能を使えば再び削除状態に戻すことができます。Redo機能ともいいます。

1 **［編集］メニューの［取り消しを戻す］を選択します。**
または、キーボードから［Ctrl］+［R］キーを押します。

映像の切り取り/コピー/貼り付け（Ctrl+X/C/V）

作業領域の映像に対して、クリップボードへの切り取りや、貼り付けができます。

1 **映像をクリップボードに移すには、作業領域から映像を選択して、［編集］メニューの［切り取り］を選択します。**
または、キーボードから［Ctrl］+［X］キーを押します。

2 **映像をクリップボードにコピーするには、作業領域から映像を選択して、［編集］メニューの［コピー］を選択します。**
または、キーボードから［Ctrl］+［C］キーを押します。コピーした映像の名前は元の映像の名前の後に「のコピー」が付いた名前になります。

3 **クリップボードの映像を作業領域に移すには、［編集］メニューの ［貼り付け］を選択します。**
または、キーボードから［Ctrl］+［V］キーを押します。

映像の整列（Ctrl+A）

編集作業中､映像が作業領域に散らばってしまったときには、整列機能を使って映像を奇麗に配置することができます。

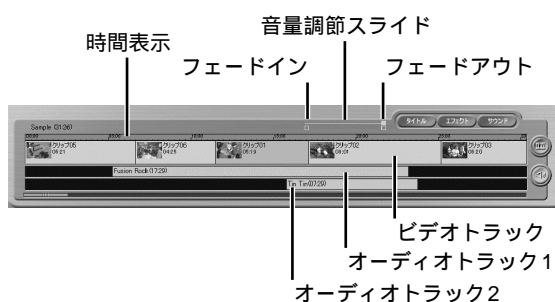
1 **編集］メニューの［整列］を選択します。**
または、キーボードから［Ctrl］+ ［A］キーを押します。

step 4 映像編集

ストーリーウィンドウの切り替え

ストーリーウィンドウは、映像画面を表示するビデオモードの他に、サウンドトラックを一緒に表示するオーディオモードをサポートします。オーディオモードでは、ビデオモードより細かい映像編集が可能です。

1 ストーリーウィンドウの、右側の［オーディオモード］ボタンをクリックすると、オーディオモードに切り替わります。

オーディオモードのストーリーウィンドウは次の通りです。

オーディオモードから映像をトリミング

オーディオモードでも映像のトリミングが可能です。オーディオモードでの映像のトリミングは不要な部分を削除して長さを短くするだけでなく、伸ばすこともできます。

1 ビデオトラックからトリミングする映像をクリックして選択します。

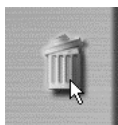
2 選択された映像のスタート部分かエンド部分にマウスカーソルを移動すると、カーソルの形が ◀━▶ に変わります。

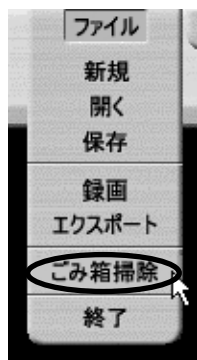
3 マウスでドラッグしながら、映像の長さを調節することができます。この時、元々キャプチャされていた映像の長さが赤い四角に表示されます。長さの調節はこの赤い四角の領域を超えることはできません。ボタンから手を離すと調節された長さが反映されます。

オーディオモードでは映像トリミングの他、サウンド編集及び音量調節も可能です。詳細は次の章をご参照ください。

ごみ箱の掃除

削除した映像は、ごみ箱に移されます。映像をハードディスクから完全に削除するには、「ごみ箱を空にする」機能を使います。

1 **画面右側の上段にあるごみ箱のアイコンをクリックします。**

［ごみ箱の項目］ダイアログボックスが表示されます。

2 **映像を完全に削除する場合は、［空にする］ボタンまたは、［ファイル メニュー］の［ごみ箱掃除］を選択します。**

5 サウンド編集

TideoDV で編集した映像のサウンドを編集しましょう。TideoDV は音楽 CD から録音したサウンドや、マイクで録音した音を取り込めます。

サウンド録音ダイアログ

ダイナミックなビデオを制作するには、デジタルビデオカメラで撮影した映像の他にも背景音楽や効果音、ナレーションなどのサウンドが必要となります。TideoDV はパソコンに内蔵されている CD-ROM ドライブとサウンドカード、マイクを利用してサウンドをより手軽に録音できます。

1 ストーリーウィンドウの右側の上段にある［サウンド］ボタンをクリックします。

2 サウンドダイアログボックスが表示されます。

●サウンドダイアログボックスを開く際、音楽 CD プレイヤー、MP3 プレイヤー、Windows の内臓サウンドレコーダーなどが実行されていると、サウンド録音機能が作動しない場合があります。TideoDV を起動する前に、システムのサウンドカードや CD-ROM ドライブを使用する、他のプログラムを終了してください。

●TideoDV を実行中に CD-ROM ドライブに音楽 CD を入れると Windows に登録された CD 再生プログラムが自動的に実行される場合があります。この場合 TideoDV からサウンドを録音できないことがありますので、CD 再生プログラムを終了します。

CD 及びマイク操作

サウンドダイアログボックスには音楽 CD を再生できる機能があります。

1 サウンドダイアログボックスから［CD］ボタンをクリックします。

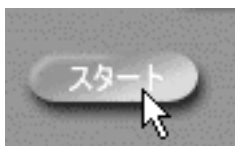
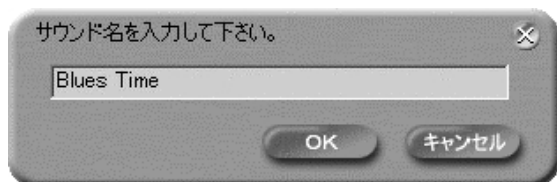
2 ［CD 操作］ボタンを使用して、音楽 CD を再生したり停止したりすることができます。

CD-ROM ドライブに音楽 CD が入ってなかったり、ドライブが開かれていると、CD 操作ボタンはグレー色に表示され、使用できません。

CD-ROM ドライブが開いている、CD-ROM ドライブに CD が入っていない、音楽 CD 以外の CD-ROM が入っている場合は、「CD ボタン」をクリックしても作動しません。

サウンド録音

1 **音楽 CD から録音する場合は、[CD] ボタン→ [CD 操作] ボタン→ [再生] ボタンの順にクリックして、音楽を再生します。**

2 **録音したい位置で [スタート] ボタンをクリックします。**
音楽が録音され、録音された時間が表示されます。

3 **[ストップ] ボタンをクリックすると、録音は終了し、サウンドを保存するダイアログボックスが表示されます。**

サウンドの名前を入力して [OK] ボタンをクリックします。

4 **録音が完了すると、左のサウンドリストに新しく録音したサウンドが追加されます。**

アドバイス

マイクで録音する場合は、[CD] ボタンの代わりに [マイク] ボタン→ [スタート] ボタンの順にクリックして録音します。あとは音楽 CD の録音と同じ手順です。

サウンドインポート

直接録音する方法のほかに WAVE 形式のサウンドファイルをインポートして、サウンドリストに追加することができます。

1 **サウンドダイアログ下段の [インポート] ボタンをクリックします。**

2 **[ファイルを開く] ダイアログボックスからご希望の WAVE ファイルを選択した後、[開く] ボタンをクリックします。**

注 意

選択したファイルが WAVE ファイルではない、ファイルが損傷している、WAVE ファイル中でも PCM 形式の WAVE ファイルではない場合は、インポートすることができません。また、1 秒以内の短いサウンドもインポートできません。

3 **サウンド名を入力するダイアログボックスが表示されます。**

4 **名前を入力して [OK] ボタンをクリックすると、サウンドが変換されてサウンドリストに追加されます。**

サウンド再生

録音したサウンドは、再生して聞くことができます。

1 **サウンドリストから任意のサウンドを選択して［再生］ボタンをクリックします。**
または、サウンドリストからサウンドをダブルクリックします。

2 **サウンド再生ダイアログボックスが表示されます。**

3 **サウンド再生ボタンをクリックしてサウンドを聞くことができます。再生バーの上段のアイコンをドラッグすると、任意の位置から再生が可能になります。**

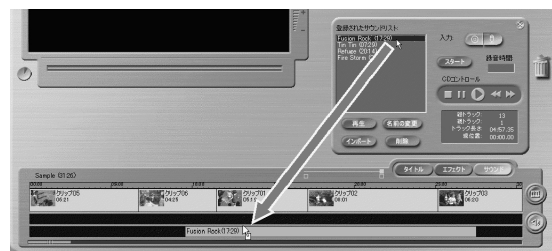
4 **［再生］ダイアログボックスを閉じる場合は、［OK］ボタンをクリックします。**

ストーリーウィンドウにサウンド挿入

録音したサウンドをストーリーウィンドウに挿入することができます。

1 **ストーリーウィンドウをオーディオモードに切り替えます。**

2 **サウンドダイアログボックスのサウンドリストから、任意のサウンドを選択して、ストーリーウィンドウのサウンドトラックにドラッグします。**

3 **ご希望の位置でドロップします。**

注意
●既にサウンドトラックに入っているサウンドと重ねてサウンドの挿入はできません。サウンドトラックが 2 つあるので、別々のサウンドトラックに配置してください。
●希望する位置にサウンドがドロップされないときは、ストーリーウィンドウを前後にスクロールして、重なっているサウンドがあるか確認してください。

サウンド編集

ストーリーウィンドウに挿入されたサウンドの位置を変えたり、他のトラックに移したりすることができます。

1 **ストーリーウィンドウから調節したいサウンドをクリックして選択します。**

2 **移動したい場合は、サウンドをドラッグして好みの位置に移します。同じトラックの中で位置を変えることも、他のトラックに移すことも可能です。**

3 **サウンドを削除する場合は、［Del］キーを押します。**

サウンドのトリミング

ストーリーウィンドウのサウンドは、長さを調節してトリミングすることができます。

1 サウンドトラックからトリミングするサウンドをクリックして選択します。

2 サウンドの両端の部分にマウスカーソルを持って行くとカーソルが ◀—▶ に変わります。

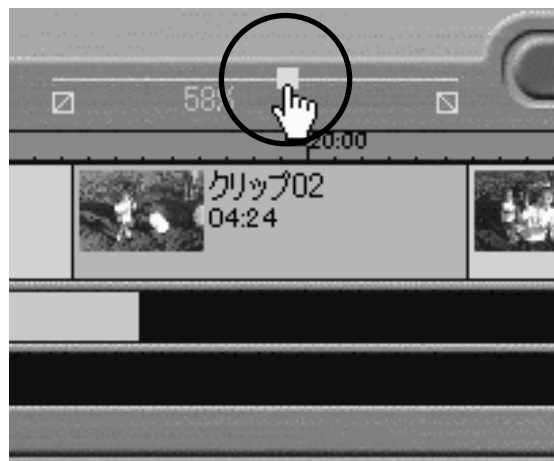
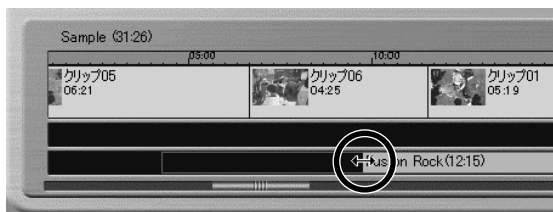
3 マウスでドラッグします。この時、サウンドの録音されているもとの長さが、赤い領域で表示されます。任意の長さに調節して、ボタンを離します。

音量の調節

映像及びサウンドの音量を調節することができます。

1 ストーリーウィンドウをオーディオモードに切り替えます。

2 音量を調節する映像、またはサウンドをクリックして選択します。

3 ストーリーウィンドウの上段中央の音量調節スライドをドラッグして、音量を調節します。

4 サウンドには、「フェードイン」と「フェードアウト」効果を適用することができます。音量調節スライドの両側にあるフェードインアイコンとフェードアウトアイコンをクリックします。

6 エフェクト編集

エフェクト機能で映像に「効果」を与えて、本格的に映像を繋いでみましょう。

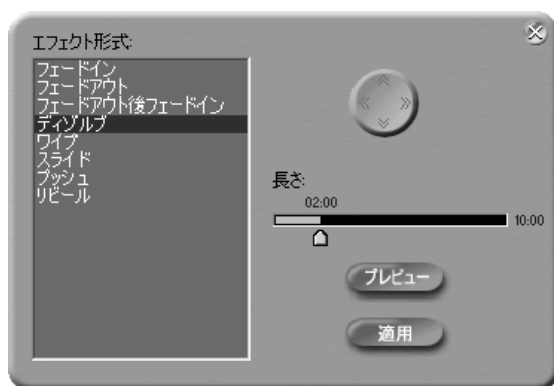
エフェクトダイアログ

カット編集とサウンド編集が終わると、基本的なビデオ編集は完了します。この後、場面切り替えエフェクトを適用すると、よりダイナミックなビデオを製作することができます。

1 ストーリーウィンドウの右側の上段にある［エフェクト］ボタンをクリックします。

2 ［エフェクト形式］ダイアログボックスが表示されます。

エフェクトの種類

TideoDV には、多様な場面切り替えエフェクトがあります。基本的に適用される場面切り替えエフェクトは次の通りです。

- フェードイン

- フェードアウト

- フェードアウト後フェードイン

- ディゾルブ

- ワイプ　(上/下/左/右)

- スライド (上/下/左/右)

- プッシュ (上/下/左/右)

- リビール (上/下/左/右)

エフェクトプレビュー

映像にエフェクトを適用します。

1 ストーリーウィンドウからエフェクトを入れる映像を選択します。エフェクトは、選択した映像とそのすぐ前の映像に適用されます。

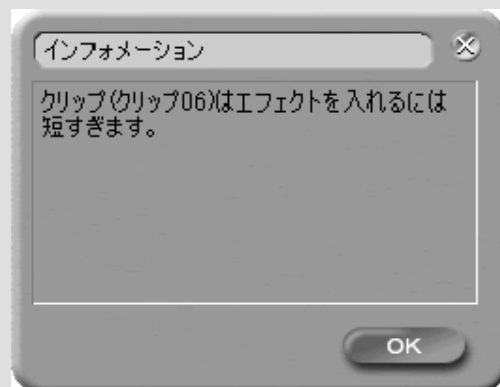
注意

映像を選択しないと、［エフェクト形式］ダイアログボックスの［プレビュー］ボタンと、［適用］ボタンが作動しません。
また、すでにエフェクトが適用されている映像や、エフェクトアイコンを選択しても作動しません。詳細は次のエフェクト修正/削除を参照してください。

2 エフェクトリストから好みのエフェクトを選択します。

3 ワイプのような方向があるエフェクトの場合は、［方向］ボタンをクリックします。

注意

●エフェクトを入れようとする前後の映像が短い場合には、あまり長いエフェクトを入れられません。この場合、次のようなダイアログボックスが表示されます。
●エフェクトを入れようとする前や、後の映像にタイトルが含まれていて、そのはじめと終わりの部分がエフェクトと重なる場合には、エフェクトを入れることができません。エフェクトまたはタイトルの長さを調節して、重ならないようにしてください。この場合、次のようなダイアログボックスが表示されます。

4 長さ調節スライドをドラッグして、エフェクトの長さを調節します。

5 ［プレビュー］ボタンをクリックすると、モニターウィンドウにエフェクトされた映像が再生されます。

注意

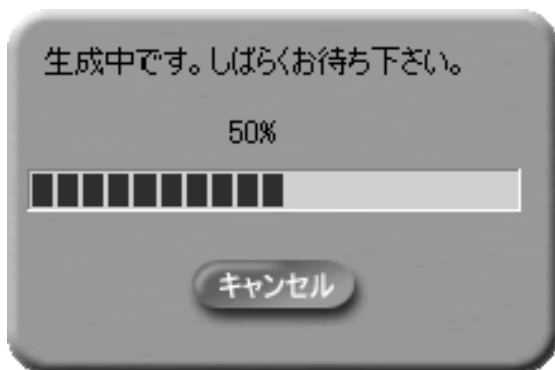
エフェクトプレビュー機能は時間がかかるエフェクトを実際に適用する前に、簡単にプレビューする機能です。エフェクトプレビューでは、エフェクトがスムーズに表示できない場合があります。

エフェクト適用

選択したエフェクトをストーリーに適用するためには、次の手順で行います。

1 エフェクト形式ダイアログボックスの［適用］ボタンをクリックします。

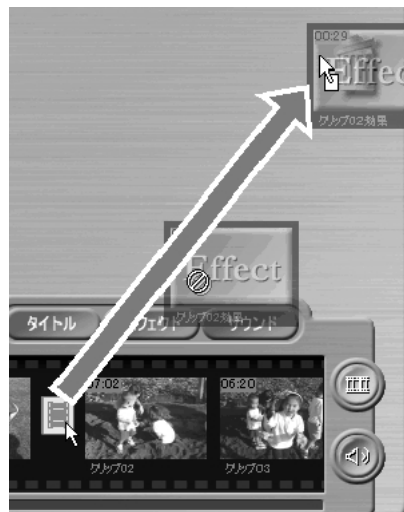
2 ［エフェクトレンダリング］ダイアログボックスが表示されて、レンダリングを開始します。

レンダリングは、１秒のエフェクトに対して、約３〜５秒ほどかかります。

3 レンダリングが終了すると、ストーリーにエフェクトアイコンが挿入されます。

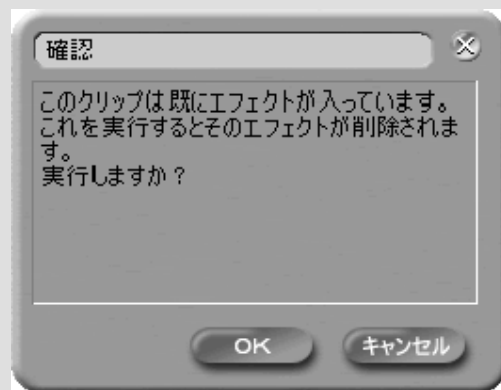
エフェクト削除/修正

適用したエフェクトは、いつでも削除が可能です。エフェクトの種類や長さを変える場合、前もって適用したエフェクトを削除した後、新しいエフェクトを適用します。適用したエフェクトを削除する場合は、次の手順で行います。

1 削除するエフェクトアイコンをクリックします。

2 ［Delete］キーを押すか、エフェクトアイコンをドラッグしてごみ箱にドロップします。

注意

エフェクトが適用された部分の前後の映像を移動したり、ストーリーウィンドウから抜き出すと、エフェクトも削除されます。この場合、次のようなダイアログボックスが表示されます。

7 タイトル編集

編集した映像にタイトルやエンディングクレジットを挿入します。

タイトルダイアログ

制作したビデオに多様なタイトルを挿入することができます。

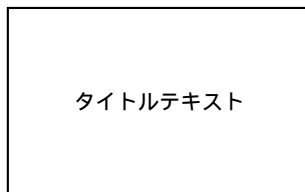
1 **タイトルダイアログを開くためには、ストーリーウィンドウの右側の上段にある［タイトル］ボタンをクリックします。**

2 **タイトルダイアログボックスが表示されます。**

step 7 タイトル編集

タイトルの種類

TideoDV は多様なタイトル形式があります。基本的に提供されるタイトルの種類は次の通りです。

- **中央揃え : タイトルテキストが画面中央に表示されます。**

タイトルテキスト

- **下段中央揃え : タイトルテキストが画面下段中央に表示されます。**

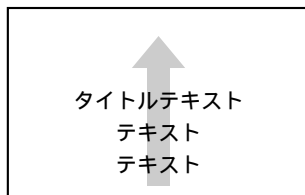
タイトルテキスト

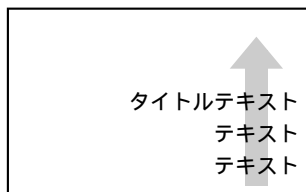
- **下段中央揃え（ボックス付）: タイトルテキストが画面下段に表示されます。ボックス内の背景は、半透明に表示されます。**

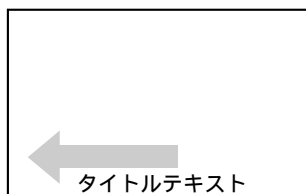
タイトルテキスト

- **下段左揃え（ボックス付）: タイトルテキストが左側に整列されて、半透明の背景が表示されます。**

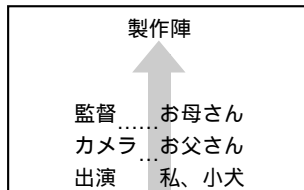
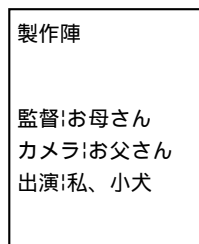
タイトルテキスト

- **中央揃えスクロール : タイトルテキストが中央整列されて上下にスクロールされます。スクロールは下から上に、あるいは上から下にすることができます。**

タイトルテキスト
テキスト
テキスト

- **右揃えスクロール：タイトルテキストが右側整列されて上下にスクロールされます。スクロールは下から上に、あるいは上から下にすることができます。**

タイトルテキスト
テキスト
テキスト

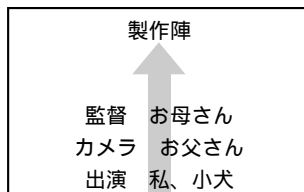
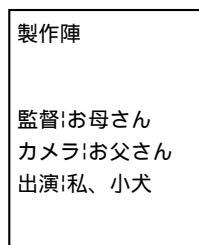
- **下段左右スクロール：タイトルテキスト画面下段から左右にスクロールされます。スクロールは右側から左側に、あるいは左側から右側にすることができます。**

- **エンディング・クレジット（点線）：映画が終わるとき表示される最後の字幕と同じく、登場人物、撮影者、編集者の名前等を入れることができます。タイトルテキストの途中、半角文字の「¦」を入れると単語を両端に分離して、中を点線で埋めます。スクロールは下から上に、あるいは上から下にすることができます。**

製作陣

監督¦お母さん
カメラ¦お父さん
出演¦私、小犬

・「¦」 のない列は中間整列されます。
・「¦テキスト 」 と書くとテキストが左側整列されます。
・「 テキスト¦」と書くとテキストが右側整列されます。

- **エンディング・クレジット（中央揃え）:半角文字の「¦」 を入力すれば画面中央を基準に両方に文字を配置します。**

製作陣

監督¦お母さん
カメラ¦お父さん
出演¦私、小犬

タイトルプレビュー

映像にタイトルを適用するには、次の手順で行います。

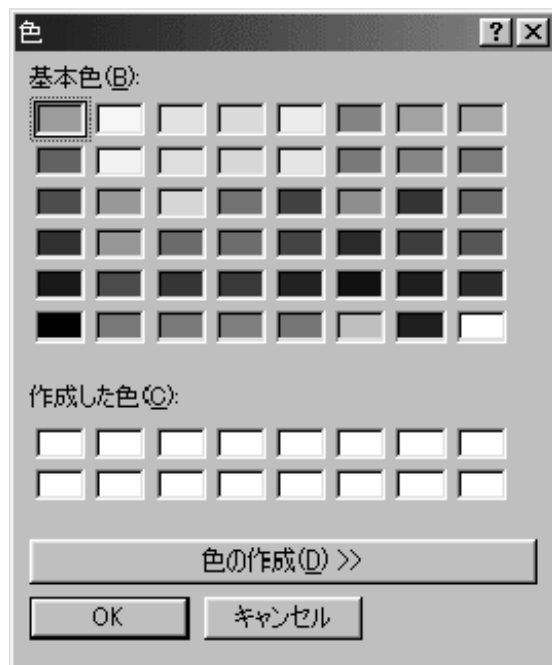
1 ストーリーウィンドウの中からタイトルを入れる映像を選択します。

映像を選択しなかったり、エフェクトアイコンを選択した状態では、タイトルダイアログボックスのテキスト入力ウィンドウ、[プレビュー] ボタン、[適用] ボタンが作動しません。

2 タイトルテキストを入力します。

3 タイトルリストから任意のタイトルを選択します。

4 長さ調節スライドをドラッグして、タイトルの長さを調節します。

5 タイトルやボックスの色を変えるには、それぞれの色ボタンをクリックし、色選択ダイアログボックスからご希望の色を選択します。

6 方向のあるタイトルの場合には、好みの方向ボタンをクリックします。

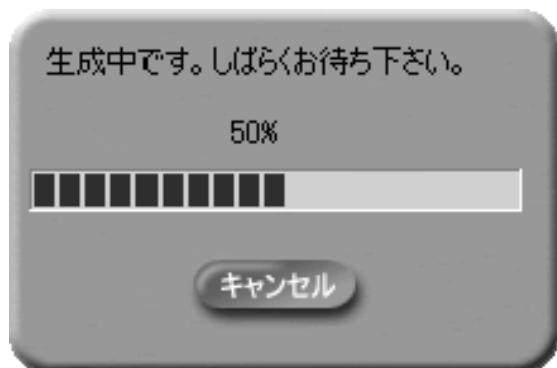
7 フォントプレビューボックスをクリックして、フォント選択ダイアログボックスからご希望のフォントを選択します。

8 [プレビュー] ボタンをクリックすると、モニターウィンドウからタイトルの挿入された映像が再生されます。

タイトル適用

選択したタイトルをストーリーに適用するには、次の手順で行います。

1 タイトルダイアログボックスの［適用］ボタンをクリックします。

2 以下のダイアログボックスが表示されて、レンダリングを開始します。
レンダリングは、１秒のタイトルに対して約３～５秒ぐらいかかります。

3 レンダリングが終了すると、ストーリーウィンドウの映像にタイトルアイコンが表示され、タイトルが追加されます。

タイトル修正/削除

適用したタイトルを修正/削除するには、次の手順で行います。

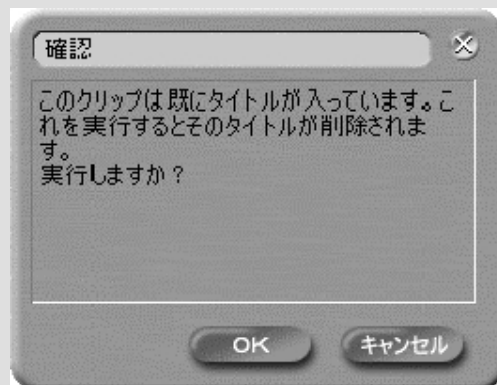
1 タイトルを修正/削除しようとする映像をクリックします。

2 ［タイトル］ボタンをクリックして、タイトルダイアログボックスを開きます。

3 タイトルを修正するには、新しいタイトルを入力した後、［適用］ボタンをクリックします。
タイトルダイアログボックスが開きます。

4 タイトルを削除するには、［削除］ボタンをクリックします。

注意

タイトルを適用した映像をストーリーから取り出すと、タイトルが削除されます。この場合、次のような警告のメッセージが表示されます。

8 録画

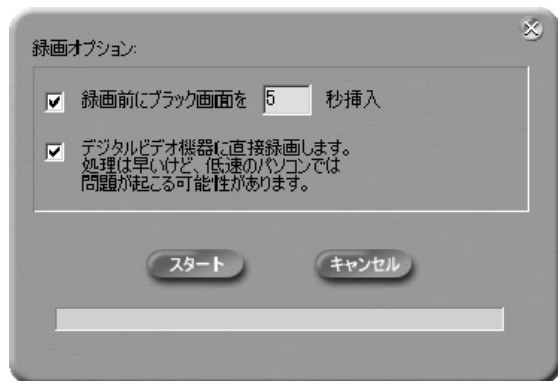
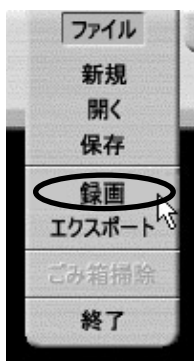
編集した映像は、デジタルビデオ機器で録画することができます。

編集作業終了後、完成した映像をもう一度ビデオ機器に録画することができます。次の手順で行います。

1 デジタルビデオ機器を接続して電源を入れます。

デジタルビデオカメラの場合、カメラモードに設定されていると録画ができません。ビデオモードに切り替えてください。

2 デジタルビデオ機器の制御ボタンを利用して録画したい位置までテープを巻戻します。

3 ［ファイル］メニューの［録画］を選択します。

4 録画時、映像の前にブラック画面を挿入することができます。好みのブラック画面の長さを入力します。

5 ［デジタルビデオ機器に直接録画します。］オプションを選択します。
映像ファイルをデジタルビデオ機器に直接伝送します。

録画するときは、まずオーディオデータを生成して、デジタルビデオ機器に直接録画します。
この方法は一般的に推奨されている方式ですが、処理速度が遅いパソコンでは映像データの伝送が不完全になり、オーディオやビデオが途切れることがあります。
このオプションがチェックされていない場合には、ビデオデータを生成する過程が追加されます。
この場合、録画する前にまず編集した映像ファイルを組合わせてひとつの大きな映像ファイルを作った後これを伝送します。この作業は速度が遅くなり（編集した映像全体の長さの２倍程度の時間が必要）、ハードディスクの残り容量も充分必要です。
また、映像ファイルを作らなければならないので１５以上の長いプロジェクトを録画することができません。
データが全て生成されると自動的にデジタルビデオ機器を録画モードに変えて映像を記録し始めます。

6 ［スタート］ボタンをクリックすると、録画を開始します。

9 エクスポート

編集した映像をムービーファイルに出力します。

完成されたビデオをMPEGまたは、AVIフォーマットの動画ファイルに変換することができます。動画ファイルは、インターネットホームページにアップロードしたり、電子メールで送ったり、CD-ROMに保存することが可能です。次の手順で行います。

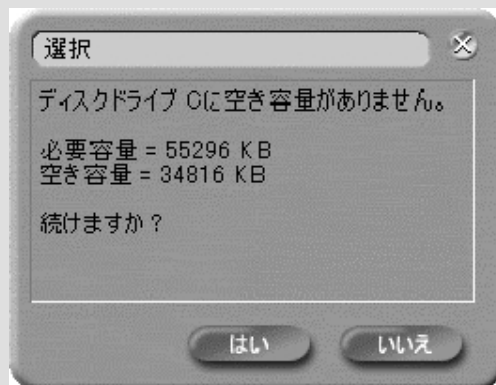
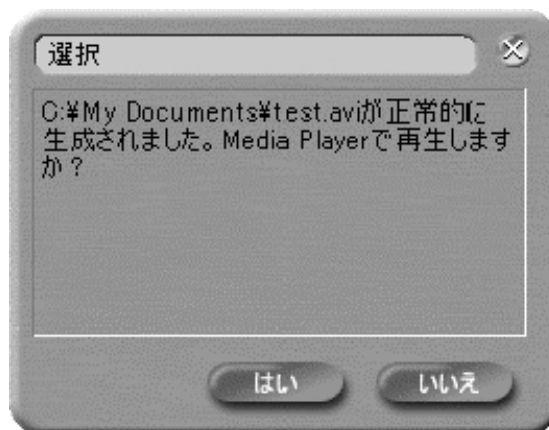
1 ［ファイル］メニューの［エクスポート］を選択します。

2 ［エクスポート］ダイアログボックスから、変換するファイルフォーマットを選択します。

3 ファイルの名前を入力します。

4 ［スタート］ボタンをクリックすると、エクスポートを開始します。

ファイル変換中は、進行時間と予想所要時間が表示されます。

注意 エクスポートする前にハードディスクをチェックし、残り容量の不足が予想されると、次のようなダイアログボックスが表示されます。この場合は、ハードディスクをまずクリーンアップして容量を増やすか、保存する他のドライブを指定してください。

5 変換したファイルは、Windows Media Playerで再生することができます。［はい］ボタンをクリックすると、Media Playerを実行して動画を再生します。

注意 MPEG-2形式ファイルの場合、Media Playerで再生するできない場合もあります。この場合は、Tideo DVDなどのMPEG-2形式ファイルが再生可能なプログラムで確認してください。

ファイルフォーマットの特性は、以下の通りです。

エクスポート形式	ファイル容量	説　明
MPEG-4 AVI 360x240	2.2Mbps 約17MB/分	マイクロソフト社のMPEG-4コデックを使用するAVIフォーマットの動画です。比較的小さなサイズに適当な画質の映像を生成します。
Indeo AVI 360x240	4.7Mbps 約35MB/分	インテル社のIndeo コデックを使用する AVIフォーマットの動画です。サイズは若干大きいですが画質が優れています。
DV AVI 720x480 高画質	27Mbps 約210MB/分	編集に使用するDVフォーマットをそのままセーブします。一番高画質ですが、ハードディスク容量を多く占めます。
MPEG-1 176x120 Web	200Kbps 約1.5MB/分	1/4 サイズの MPEG-1フォーマットの動画です。インターネットホームページにアップしたりE-mailで送ったりするのに適当な大変小さなサイズのファイルを生成します。
MPEG-1 352x240 ビデオ CD	1.3Mbps 約10MB/分	ビデオCD画質に相当するMPEG-1フォーマットの動画です。比較的小さなサイズに適当な画質の映像を生成します。
MPEG-1 352x240 高画質	2.4Mbps 約18MB/分	高画質のMPEG-1フォーマットの動画です。サイズは若干大きいですが画質が優れています。
MPEG-2 720x480 高画質	6Mbps 約45MB/分	標準MPEG-2フォーマットのフォーマットの動画です。フルサイズの画面に大変優れた画質の映像を見ることができます。

TideoＤＶ
ユーザーズガイド

２０００年１１月　初版
株式会社ソーテック